

## 看護学部における就職先・卒業生からの評価調査について

— 2021年度、2022年度 —

### 【評価調査の目的】

梶山女学園大学看護学部は2010年に開設され、2022年度で12年目を迎える。この約3年間はCOVID-19感染拡大が起これ、医療看護を取り巻く環境に多大な影響が及んだが、本学部卒業生の多くは看護師・保健師・助産師・養護教諭等の身近な看護職者・教育者として、それぞれの職場で貢献している。

看護職者は、医療の進歩と多様化する人々のニーズに対応していかねばならず、看護基礎教育を終えた後も継続した学修を行い自己の能力を高めていく必要がある。その継続教育については、大半が各病院や各施設に任されている現状がある。しかし、「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告書」にもあるように、今後の大学教育における課題として、卒業生が生涯を通じて看護専門職としての能力を向上させ、発揮し続けることを組織的に支援する体制づくりの必要がある。

### 【2022年度までのプロセス】

看護学部では、これまで卒業生卒業生のキャリアを支援するために「同年代、同職者との情報交換」「キャリアデザインへの理解とアドバイス」「能力やスキルの向上に向けた学習の機会」「進学や資格取得の相談の窓口となること」「卒業生熱とワークの構築」「メンタルサポート（メールなどの支援）」を重要と考え、「実習施設との懇談会」「卒業生と教員との懇談会」「生活指導（ゼミ）教員による卒後のメール等でのフォロー」等を実行してきた。

2021年度に行った病院看護管理者（名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）による外部評価において、本学部卒業生の卒後の動向や成長等について聞き取り調査を行った。

2022年度は「雇用先からの卒業生に対する評価」「雇用先からの教育プログラムへの評価」「卒業生からの教育プログラムに対する満足度調査、卒業後の動向調査」を継続して調査することとしており、雇用先・卒業生からの評価を、教育課程の改善に結びつける仕組みを開始している。

### 【2021年度の調査結果】

#### 1. 2021年度 梶山女学園大学看護学部外部評価

日時：2021年10月26日（火）9：00～11：00

方法：ヒアリング調査

- ・本学部卒業生に対する評価
- ・雇用先からみた教育プログラムの評価
- ・雇用継続者および退職者の動向

評価者：委員長 藤井 晃子（名古屋大学医学部附属病院 副病院長 看護部長）

- 委員 福留 元美 (名古屋市立大学病院 看護副部長)
- 委員 上田美寿代 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院  
看護副部長 )

ヒアリング結果の概要：

- 1) 女子総合大学としての教育の特色をもとに、看護部独自の教育課程の枠組みができていることが確認でき極めて良好な状態である。
- 2) 国家試験の合格率、就職率などから大学での教育が適切に実施され、学修成果が得られて就職してきている。しかし、コロナ禍の影響もあると思うが、早期離職、適応困難などの新人が増えている。
- 3) 医療においては、「逃げない、隠さない、ごまかさない」ことを求められる。しかし、人は自我のもつ防衛機制によって傷つきから自分を守ろうとするために、「逃げない、隠さない、ごまかさない」に反する行動を起こすこともある。これにより、患者・家族や多職種と信頼関係を築くことができなくなる者もいる。  
「失敗は悪いことではなくそこから学ぶことで成長できる」、「他責は多職種連携が機能しなくなる」等、医療者自身の防御反応が、患者中心の医療を提供する際に不利益を生じることがあるということを、就職前までに看護職を育成する教育機関で学ぶことを期待する。
- 4) 心技体の整った、これからの看護を支えていく人になるには、相手の立場を想像でき、相手の立場に立って、視野を広く物事を考えられる思考力とコミュニケーション能力の育成が必要である。加えて誠実さを大切に出来る人(ゆとり世代と言われる世代以降、看護実践における指導の振り返り時に、自分の立場が悪くなると感じる事 について、自己防衛からか「覚えていない」と答える人や指摘事項について『他責』の表現をする人が増している感がある。少子化で大人の評価に過敏な人が増え、小さな失敗を過剰にとらえ、自己否定に繋げてしまう卒業生もいる。失敗は悪いことではなく、そこから学ぶ能力として、逃げない、隠さない、ごまかさないで振り返る力、その精神力を持った人を大学側には育ててほしい。

#### 【2022年度の調査実施概要】

##### 1. 2022年度「実習施設と大学との懇談会」

コロナウイルスの蔓延が収まらないなかで、看護基礎教育を受けた学生は、実習経験が少ない4年間を過ごしてきた。大学・実習における看護教育の実態は、就職後の新人教育にも影響するといえる。今回は、新人看護師の実習経験の少なさの影響としての、「新人看護師の状況」「コミュニケーションスキル」などについて情報提供いただいた。

日時：2022年 6月7日(火) (14:00-15:30)

方法：遠隔 (Zoom) によるヒアリング調査

実習病院や施設に就職した卒業生についての評価を聴取した。

評価者 18 名の所属施設（13 施設）：

- 1 ) 藤田医科大学病院
- 2 ) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
- 3 ) 名古屋セントラル病院
- 4 ) 愛知県がんセンター
- 5 ) 名古屋市立大学病院
- 6 ) 公立陶生病院
- 7 ) 愛知医科大学病院
- 8 ) 大同病院
- 9 ) 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
- 10 ) 藤田医科大学 ばんたね病院
- 11 ) 訪問看護ステーション太陽千種
- 12 ) 名古屋大学医学部附属病院
- 13 ) 愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院

ヒアリング結果の概要：

**【対応できている、コロナ渦の大きな影響がない点】**

- 1) 新人看護師は、発言は少なくとも先輩の行動をしっかりと観察できていて、「先輩看護師の真似」をスタートとして、学んでいくことができています。
- 2) 「実習が十分に行えなかった」という意見を、昨年度、今年度の入職者からよく聞かれますが、客観的に大差はないように見えます。しかし、新人看護師自身はそれを気にして働いている様子です。
- 3) 当初配属された際、雑然とした中で自分が働いていけるのかというリアリティショックをもつ者を多く見受けました。悩む者が多く、フォローが必要な状況であったが、現在も頑張っており勤務しています。職場の雰囲気がイメージできずに入職してくる者が多いです。
- 4) コミュニケーション・直接的なケアは患者と接していない分、苦手だと思っているが、先輩の看護師と一緒にいれば、特に問題なくできています。
- 5) 知識、看護技術については例年と大きく変わらない印象です。
- 6) コミュニケーションが図れないのではないかと先入観があったが、実際は、スタッフだけでなく、患者への声かけは非常に丁寧に行えている。また 2 年前より PNS（パートナーシップナーシング）を導入したが、新人は先輩とペアになって学習できるため有用であったと感じる。
- 7) 配属されてから 3 か月ほど経過するが、先輩看護師の見守りがなくても看護実践できています。

**【課題】**

- 1) 実習の経験が少ない分、看護技術の部分で患者に対する個別性を出すことと、看護技術の応用力が弱いと感じています。

- 2) 就職した初期は、患者との直接的なコミュニケーション、ケアを提供する場面など、一人で患者のもとへ行くことに対して、例年以上に不安が大きい様子や訴えがあった。
- 3) 新人は就職後すぐにケアをする場面では、ケアの技術を習得する必要があったと感じている。学内実習でも技術の時間を確保して欲しかったという意見があった。
- 4) 患者を訪室することに躊躇する新人看護師が全体的に多い。コロナ禍であっても、基礎教育の期間で実習できた回数が多かった新人看護師は、患者を訪室することに1歩踏み出しやすい印象がある。そのため新人教育では患者への対応の仕方をシミュレーションしたりロールプレイを行ったりして、その様子を携帯で撮影し、動画を見て振り返るような指導を行い、不安を軽減している病棟もある。
- 5) 麻痺がある患者や筋力低下がある患者、車椅子からの移乗など実際の患者への対応に不安が強く、慣れるのに時間がかかっている印象がある。
- 6) 椙山女学園大学の卒業生に限らず全体的に今年度の新人看護師は、患者と話すことやリーダー看護師への報告に緊張が強い印象を受ける。そのため新人教育では、これまでは集合形式で技術を先に指導することが多かったが、今年度は病棟の看護師に同行させて他の看護師の関わり方をみてもらうようにしている。

2. 本学部では、これまで卒業生を対象とした在学中の学業や学生生活の状況、卒業時点での看護実践能力や学生生活の状況、卒業後の動向把握（転職、退職等）は行ってきた。今年度は、本格的に、卒業生の受け入れ側である就職施設の看護管理者や卒後教育に関わる関係者から、入職後の卒業生の看護実践能力や看護活動（知識、技術、態度等）についての評価を調査する準備に入っている。想定している調査項目を以下に示す。

#### 【看護部長】

- 1) 勤務態度
- 2) 知識・技術・専門性を高める意欲
- 3) 職場における人材価値
- 4) 本学卒業生の今後の採用について
- 5) 本学卒業生について不足していること
- 6) 本学の看護教育に対する意見や意見や要望
- 7) 本学卒業生の在職者数 など

#### 【職場の上司】

- 1) 本学卒業生と他校卒業生の違いの有無と内容
- 2) 新卒看護師の看護活動における態度・倫理・技術面について不足していることや気になること
- 3) 本学の看護教育に対する意見や要望
- 4) 勤務場所